

山口県県民活動促進基本計画の改定に係る小委員会報告

1 第1回山口県県民活動促進基本計画改定小委員会の概要報告

(1) 開催概要

平成19年6月18日(月)第1回審議会終了後に開催

(2) 審議内容

ア 委員長及び副委員長の選出

横田委員を委員長に、山田委員を副委員長に選出

イ 基本計画改定小委員会等開催スケジュールを了承

2 第2回山口県県民活動促進基本計画改定小委員会の概要報告

(1) 開催概要

日時：平成19年7月19日(木)10:00~12:00

場所：環境生活部第2号会議室(県庁12階)

出席者：小委員会委員7名、県民生活課長ほか4名

(2) 審議項目

ア 「山口県県民活動促進基本計画」の改定骨子(案)について

イ 改定の論点(素案)について

別添、第2回小委員会資料1~3をもとに意見交換を行った。

(3) 主な意見

ア 県民活動団体と企業の協働の促進

県民活動支援センターのラウンドテーブル等を活用し、双方の情報交換を促進する必要がある。

イ 協働のガイドブックの利用対象の拡大

現在のガイドブックは県職員向けであるので、県民活動団体や企業の側で協働を進めるための分かりやすいガイドブックの作成について検討すること。

ウ 国民文化祭やまぐちの成果継承

国民文化祭の成果について、県民に分かりやすい形で記述すること。

エ 団塊の世代への情報提供

生涯現役社会づくり学会は、高齢者や中高年の生きがいづくりや健康づくり、社会貢献活動、就労等の促進などについて先進的な調査研究や支援活動などを行い、生涯現役社会づくりに寄与することを目的に平成16年11月に設立された団体であり、団塊の世代への情報提供機関として記述して欲しい。

オ 団塊の世代への学習機会の提供

団塊世代の大量退職を迎え、団塊の世代等シニアが地域社会を支える地域の担い手として地域住民を支える県民活動を進めるためにも、生涯現役社会づくり学会とも連携して退職前のシニア等に学習機会の提供を行うことが大切。

カ NPO法人化の促進

NPO法人の認証事務について、県民局で認証可能になったことにより、NPO法人の負担軽減が図られ、利便性も高まっている。設立等のサポート体制を充実して法人化の促進を図る旨の記述としてはどうか。

キ 公共施設等の県民活動への活用

公共施設や社団等所有施設の会議室、中山間地域での廃校等、未利用施設を県民活動の場所として、有効活用することを考えてはどうか。

また、美術館ボランティア等公共施設との協働の視点で、公共施設のサービス向上を図りながら活動を発展させていくことで公共施設の活用を図ることも必要。

ク 情報ネットワークの活用

各支援センターで行われる催しや研修等について、情報ネットワークを活用して、他の支援センターに配信するなど、各支援センターが連携し、効率的に情報交換をすることを検討してはどうか。

ケ 県の各財団の連携について

人づくり財団、きらめき財団など県の各財団等がそれぞれ人材育成等に取り組んでいるが、受講者等の便宜や効率化を図るために互いに連携して実施することを考えてはどうか。

コ 類似用語の説明の工夫

県民活動支援機関、中間支援団体、県民活動支援拠点と類似の用語が出てくるので、県民がわかりやすいように用語の意味を本文中で補足説明するなど工夫すること。